INFORMATION & OTHERS

ゼッケンの色と数字に注目 ゼロナンバーも応援してね！

何度も書いちゃいますが、北海道では 10 年ぶりとなる全日本選手権の開催。中には津軽海峡を渡って本州や九州まで遠征していた道産子ライダーもいるんですが、レース観戦のためだけに内地に行ける人は少ないですよね。

様々なモータースポーツ競技の中で、横一線のスタートは、モトクロスだけだと言われています。まずは全国からたトップライダーたちのスピードとジャンプの迫力、随所で繰り広げられる抜きつ抜かれつのバトルを楽しんでくださいね。

今回は 1 日開催の特別フォーマットで行われるため、次から次へとスケジュールが進行します。スタートで1コーナーをトップで立ち上がることをホールショットと言うんですが、それは針の穴を通すくらい狭き門だから。当然スタートでトップに立てばレースを有利に組み立てられます。それだけに1周目の混戦バトルは熾烈です。注目するライダーは、アクシデントに遭わずに1周目をクリア出来るでしょうか。

次のポイントはマシンとゼッケンの色。赤はホンダ、青がヤマハで黄色がスズキ、カワサキは緑。でもよく見るとオレンジ色の KTM が混じっていたり GASGAS というメーカーはホンダと同じ赤い外装だったりします。

ゼッケンは白地が IA1、黒字が IA2、青が IB... なんですが、よく見たら IA1 にも IA2 にも赤いゼッケンが混じってますよね。これは前年度トップ 10 のライダーだけが付けることを許されるプレミアムカラー。ゼッケンの数字は去年のランキング順なので、赤は強い、数字の若いライダーは速いと覚えてください。

あれれ、黒ゼッケン IA2 には 02～010 のライダーがいますね。彼らは今年 IA クラスに昇格したばかりのルーキーたち。新入生だと思ってください。みんな先輩の迫力に押されてドキドキしています。スタートの前なんか正に口から心臓が出ちゃうんじゃないかってくらい緊張しているハズ。そんな時は観客の応援が何より力になります。スタート前の選手紹介やサイティングラップの時に、落ち着いて頑張れよって励ましてあげてください。

それで気になるライダーが見つかったらプログラムをチェーック。全体を見ようとすると誰がどこでどれがなにやら分からなくなってしまうので、慣れるまでは誰か一人のライダーに的を絞って観戦すると、レースの展開が良く分かると思います。

スタートして赤ゼッケンライダーが後ろの方にいたら、何かアクシデントが起きたかって思えるし、そうじゃない、大きな数字や IA 昇格を果たしたルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって思ってください。

声を出しての応援 OK 声援がレースを盛り上げます

今シーズンから入場の際の検温や問診、マスク着用やソーシャルディスタンスの確保のお願いなど、コロナ感染対策は全てなくなりました。

もちろん表彰式は両日お客さんに解放されます。ぜひ応援したライダーにおめでとうの掛け声を送ってあげてください。シャンパンファイトの飛沫も浴びることが出来ちゃいますよ。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。アドレスはこの新聞の1番下に QR コードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはずです。

天候やコンディションで若干変更が出るかもしれませんが、IA2 クラスのヒート 1、IA1 クラスのヒート 1 スタート前には選手紹介が行われます。サイティングラップはライダーにとって 1 番集中する時間ですが、コースサイドからの声援はしっかりと耳に届きます。

とにかくレースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ず～っとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はパドックやメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。ポスターや応援のフラッグがテイクアウト出来るようになっているハズだし、メーカーチームパドックにもポスターが用意されています。

レースの合間にパドックに出向いてライダーを訪ねたり差し入れに行ったりするのも OK です。

スタートゲートやサインエリア、雨だったら特に洗車場でもメカニックさんの仕事ぶりが見学出来ます。コースを移動しながら最適な観戦ポイントを探してください。転倒などアクシデントが多い競技なので、ライダーは安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアーの中に着けている装具なども出店ブースでぜひご覧になってください。

今シーズンは LINE でお届け MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの現地情報を中心に画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MXING 」ですが、今年も LINE 公式アカウントを使って配信しています。シーズン中、更なるバージョンアップを予定しているんですが、料金は基本タダ（笑）。現地情報からレース後の裏話などなど、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。みなさんぜひお気軽にご登録ください。

編集後記

レース前のライダーに話しかけたら怒られるんじゃないかと思っている方、絶対にそんなことはありません。IA1 クラスでトップを独走するジェイ・ウィルソン選手を筆頭にライダーは何よりもファンを大事に思っています。気になる選手がいたらとにかく話しかけて顔と名前を覚えてください。そうすることで応援にも一層熱が入るハズ。それがモトクロス観戦の基本です !?

MXING & MC Square 木田 淑

全日本モトクロス新聞 MXING D DIRT STAR MOTOCROSSING
制作・発行／MC Square 木田 淑
〒185-0053 東京都江東区辰巳1-3-5-1409
Tel. & Fax. 03-3522-2278
E-mail: kida@mxing.com
HP:http://www.mxing.com
出力・印刷／東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:http://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行・無料

今シーズンも開幕から負けなしの#27ジェイ・ウィルソンを止めようと全力で挑む日本のトップライダーたち。10年ぶりの北海道大会を制するのは果たして誰だ!? Photo/K.Kida

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ2023 第5戦 北海道大会は、7月30日に北海道千歳市美沢の新千歳モーターランド・モトクロスコースで開催される。全日本選手権の開催は実に10年ぶり。今回は北海道選手権との併催となり、IAクラスは25分+1周、15分+1周の2ヒート制特別フォーマットでレースが行われる。実力で大きな差を持つ海外ライダーを打ち負かすことができるか、北の大地で繰り広げられる激戦を制するのは果たして誰か、ぜひ注目して欲しい。

白熱のバトルで盛り上がろう!
1.トップライダー&地元選手をチェック!
2.お気に入りのライダーを一人見つける!!
3.モトクロスだけの横一線スタートに全集中!!!
4.頑張る選手を全身全力で応援しよう!!!!

エース対決はジェイが圧勝 富田&日本勢の巻き返しに期待!

国内最高峰 IA1クラスの新たなエースとしてタイトル防衛に挑む**富田俊樹**（#1 ／ヤマハ）に対し、IA2、IA1クラスの連覇に挑む**ジェイ・ウィルソン**（#27 ／ヤマハ）。チャンピオン同士の直接対決に注目が集まった開幕戦は、ジェイが圧勝した一方で富田は転倒を繰り返し辛酸を舐める結果に。

続く第 2 戦関東、第 3 戦 SUGO、第 4 戦中国大会もジェイが圧倒的なパフォーマンスを見せて席巻。富田がすぐに調子を取り戻した一方で、開幕戦で負傷した**渡辺祐介**（#4 ／ヤマハ）に続き第 2 戦では**能塚智寛**（#2 ／カワサキ）、**小方 誠**（#5 ／ホンダ）、第 4 戦では**大城魁之輔**（#4 ／ホンダ）が怪我で戦列離脱を強いられるなど、日本のライダーたちは苦戦を強いられている。

ジェイの快進撃がいつまで続くのか。富田を筆頭に、再び戦列に加わる能塚や小方のうち誰が彼の独走にストップをかけるのか。打倒ジェイを目標に掲げるのはもちろん富田や能塚らワークス勢だけではない。ジェイ、富田に続くランキング 3 番手に浮上した**内田篤基**（#8 ／カワサキ）と僅差でこれを追う**大倉由揮**（#6 ／ホンダ）や**大塚豪太**（#7 ／ホンダ）、**安原 志**（#13 ／カワサキ）、ベテランの**小島庸平**（#10 ／ホンダ）も上位入賞を目指して変則 2 ヒート制の決勝に挑む。

IA1 クラスでは**池本凌太**（#15 ／ホンダ）や大ベテラン**沼田誠司**（#29 ／カワサキ）ら地元勢の活躍にもぜひ注目して欲しい。ポイントリーダーのジェイにとっては前回の広島に続き、このコースでレースをするのは今回が初めて。ハイスピードかつダイナミックさを誇る新千歳モーターランドを舞台に新たな展開が期待される。

IA2 は世界レベルの走りに 若手がどこまで迫れるか

昨シーズン日本の若手を完全に圧倒して無敗のままチャンピオンとなった**ジェイ・ウィルソン**が IA1 クラスにステップアップしたことで王者不在となった IA2 クラス。開幕戦は予想通りの混戦となり、**西條悠人**（#8 ／カワサキ）、**中島漱也**（#4 ／ヤマハ）、新たにチャレンジしてきたスペインの若手**ビクター・アロンソ**（#58 ／ヤマハ）が初優勝を分け合った。

しかし第 2 戦関東、続く SUGO では実力で一歩勝るビクターが持ち前のスピードを発揮して 2 連続パーフェクト優勝を達成。ビクターがそのまま日本勢を突き放すかと思われたが、前回中国大会、ビクターは第 1 ヒートのオープニングラップにジャンプで他者と絡んで転倒を喫するなど、日本でのレース環境にまだ不慣れな一面を覗かせる。

そのレースで自身初となるヒート + 総合優勝を飾った**池田 凌**（#18 ／カワサキ）のように僅かな隙を突いて日本の若手たちが再び混戦へと持ち込むのか、シーズン後半に向けて展開がどう変わるか注目が集まる。

ランキング 2 番手に浮上した**横澤拓夢**（#5 ／ホンダ）、これに続く**浅井亮太**（#2 ／ヤマハ）、ランキングでは後退したものの再び巻き返したい中島、もちろん西條も打倒ヴィクトルを目指している。さらに**柳瀬大河**（#3 ／ホンダ）や**田中淳也**（#17 ／ヤマハ）ら十代で表彰台を経験した若手のさらなる成長にも期待したい。

未来のスターを探せ。地元勢が主役の北海道選手権

トップ争いはもちろんだが、1ポイントを巡るバトルからも目が離せない。特に今回併催される北海道選手権は、正に未来のスターライダーの宝庫だ。IA1 クラスで前回6位に入賞し自己ベストの成績をマークした池田や、IA2 クラスでトップライダーの仲間入りを果たした池田も北海道選手権で腕を磨いたライダーだ。レースの度に着実に力を付けるか一気にブレイクスルーを果たすのか。自らの可能性を信じながら、日本のトップや世界を目指して鎬を削るチャイルド～IB Open クラスの戦いにもぜひ注目して欲しい。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2023スケジュール

第1戦	HSR九州大会	4月 8～9日	熊本県／HSR九州
第2戦	関東大会	5月 13～14日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第3戦	SUGO大会	6月 3～4日	宮城県／スポーツランドSUGO
第4戦	中国大会	6月 24～25日	広島県／世羅グリーンパーク弘楽園
第5戦	北海道大会	7月 30日	北海道／新千歳モーターランド
第6戦	近畿大会	9月 9～10日	奈良県／名阪スポーツランド
第7戦	HSR九州大会	10月 8日	熊本県／HSR九州
第8戦	関東大会	10月 28～29日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第9戦	MFJ-GP	11月 11～12日	宮城県／スポーツランドSUGO

D.I.D 全日本モトクロス選手権 第5戦 北海道大会 開催おめでとうございます。
HONDA YAMAHA Revs Your Heart SUZUKI

左のQRコードは、今大会のライブタイミングリザルトとライブ動画配信のダイレクトリンクです。また右のQRコードにアクセスすると、タイムスケジュール、予選結果（決勝スターティンググリッド）、リアルタイムリザルト（決勝結果）の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。